

第3章 健康増進 2 (1) 栄養・食生活、(2) 身体活動・運動



栄養・食生活	主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食生活の定着
	十分な量の野菜や果物を毎日とる食事を推奨
	素材の味をいかした減塩の推進
	乳製品等による必要なカルシウム摂取を推奨
	食生活改善推進員や食育ボランティア等が行う食生活改善に向けた地域活動を促進
	朝・昼・夕3食を食べる健康的な食習慣の定着

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合 (20歳以上)	
現状値	目標値
R10 調査予定	50% (R14)
野菜摂取量の平均値 (20歳以上)	
現状値	目標値
291.9g (R4)	350g (R14)
果物摂取量の平均値 (20歳以上)	
現状値	目標値
104.2g (R4)	200g (R14)
牛乳・乳製品摂取量200g以上の者の割合 (20歳以上)	
現状値	目標値
24.2% (R4)	35% (R14)
食塩摂取量の平均値 (20歳以上)	
現状値	目標値
10.5g (R4)	8g(R10) 7g(R14)

20~50歳代男性の肥満者の割合 (BMI 25以上)	
現状値	目標値
35.4% (R4)	28% (R14)
平成20年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	
現状値	目標値
18.9%減少 (R4)	25%減少 (R11)
がんの年齢調整罹患率 (人口10万対)	
現状値	目標値
男女計 375.9 (R元)	減少 (R11)
がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対)	
現状値	目標値
男女計 65.6 (R3)	男女計 55 (R11)
脳血管疾患による年齢調整死亡率 (人口10万対)	
現状値	目標値
男性114.6 女性 71.4 (R2)	減少 (R11)
虚血性心疾患による年齢調整死亡率 (人口10万対)	
現状値	目標値
男性82.8 女性35.4 (R2)	減少 (R11)
糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	
現状値	目標値
125人 (R3)	118人 (R14)

身体活動・運動	やまがたの気候や自然環境をいかした運動を推進
	イベント、スポーツ大会等、地域住民が運動に親しむことのできる機会を増やす
	各市町村が行うウォーキング事業等と連携し、県民の歩く習慣を定着
	総合型地域スポーツクラブの取組みを充実
	冬季に実践できる運動・スポーツを推進
	体育館、公民館、学校の運動施設等の有効活用を促進
	フィットネスクラブ等の健康増進施設の活用を促進
	歩道や公園の整備等、気軽に運動しやすい環境の整備を促進
	運動を指導する人材の育成を推進
	運動に関心のない者も取り組みやすい環境づくりとして市町村が実施する健康づくりをポイント化する制度の充実やスマートフォンのアプリなどを活用した運動のきっかけづくりを促進

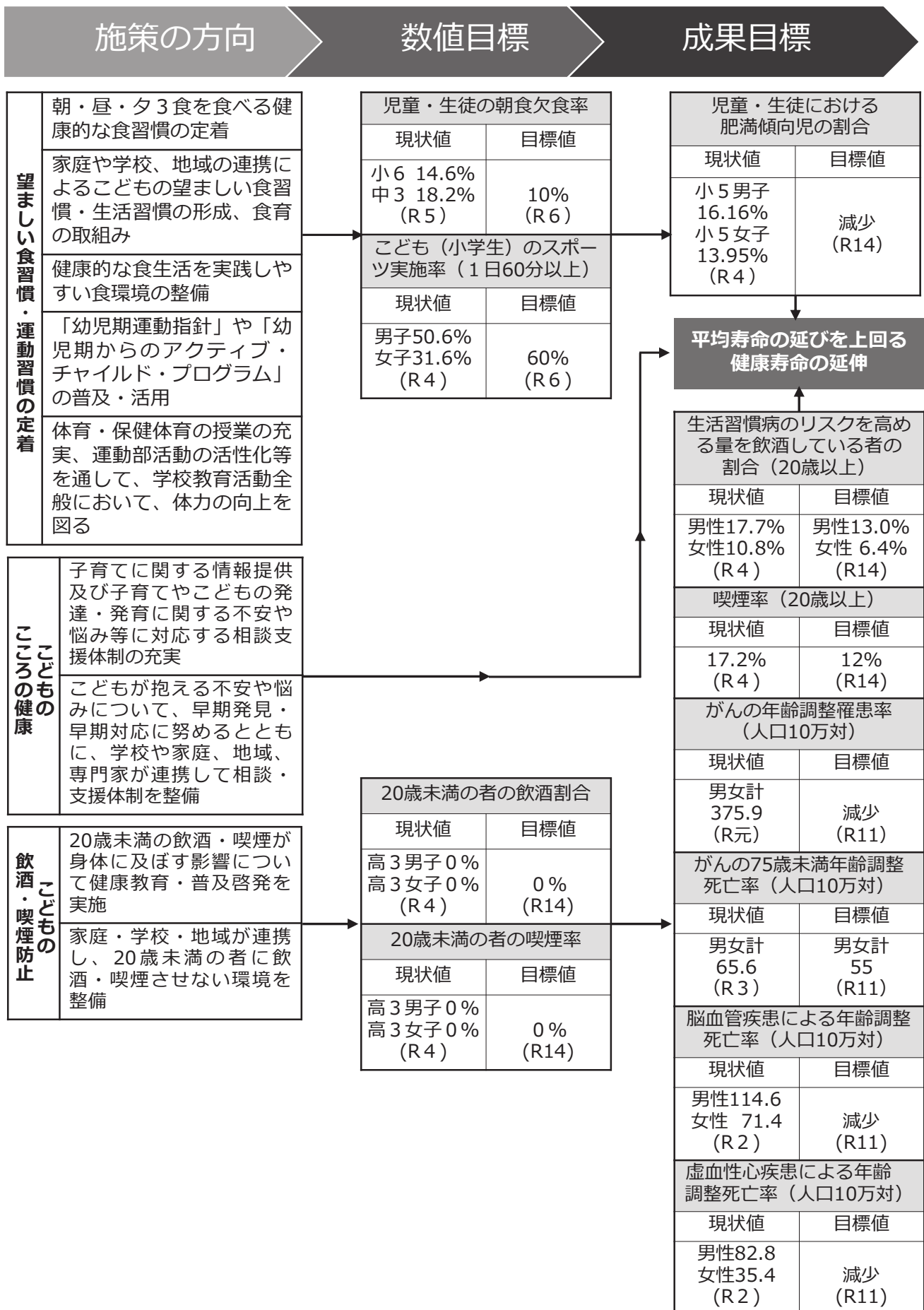
運動習慣者の割合 (20歳以上)	
現状値	目標値
男性45.6% 女性36.1% (R4)	男性50% 女性40% (R14)
1日の歩数の平均値 (20~64歳)	
現状値	目標値
男性7,098歩 女性5,893歩 (H28)	8,000歩 (R14)

平均寿命の延びを上回る健康寿命の延伸

第3章 健康増進 2 (3) 休養・睡眠・こころの健康、(4) 飲酒、(5) 喫煙

施策の方向		数値目標		成果目標		
休養・睡眠・こころの健康	休養や睡眠、こころの健康に関する正しい知識の普及	睡眠による休養を十分とれている者の割合(20歳以上)		平均寿命の延びを上回る 健康寿命の延伸		
	十分な睡眠時間とリフレッシュの機会の確保	現状値	目標値			
	多様な手段で様々な世代に対応できる相談体制の整備・周知	78.2% (R4)	80% (R14)			
	「心のサポーター」の養成・周知強化	いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている者の割合(20歳以上)				
	現状値	目標値	がんの年齢調整罹患率(人口10万対)			
	R10調査予定	R10から2.5%増	現状値			目標値
	「心のサポーター」(ゲートキーパー)養成者数(累計)		男女計 375.9 (R元)			減少 (R11)
	現状値	目標値	がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)			
	56,936人 (R4)	80,000人 (R9)	現状値			目標値
			男女計 65.6 (R3)			男女計 55 (R11)
飲酒	過度の飲酒が及ぼす健康影響や節度ある飲酒量について普及啓発	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(20歳以上)		脳血管疾患による年齢調整死亡率(人口10万対)		
	アルコールに関連する問題の支援体制の充実	現状値	目標値	現状値	目標値	
		男性17.7% 女性10.8% (R4)	男性13.0% 女性6.4% (R14)	男性114.6 女性71.4 (R2)	減少 (R11)	
喫煙	たばこの健康影響や禁煙治療に関する普及啓発	喫煙率(20歳以上)		虚血性心疾患による年齢調整死亡率(人口10万対)		
	禁煙治療や禁煙相談が受けやすい環境の整備	現状値	目標値	現状値	目標値	
		17.2% (R4)	12% (R14)	男性82.8 女性35.4 (R2)	減少 (R11)	
				糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数		
				現状値	目標値	
				125人 (R3)	118人 (R14)	
				COPDの死亡率(人口10万対)		
				現状値	目標値	
				18.3 (R3)	13.7 (R14)	

第3章 健康増進 2 (7) こどもの健康



第3章 健康増進 2 (8) 女性の健康

施策の方向		数値目標		成果目標		
望ましい食生活の定着	主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食生活の定着	20歳代～30歳代女性のやせの者の割合 (BMI18.5未満)		がんの年齢調整罹患率 (人口10万対)		
	十分な量の野菜や果物を毎日とる食事を推奨	現状値	目標値	現状値	目標値	
	素材の味をいかした減塩の推進	17.2% (R4)	15% (R14)	男女計 375.9 (R元)	減少 (R11)	
	乳製品等による必要なカルシウム摂取を推奨			がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対)		
	食生活改善推進員や食育ボランティア等が行う食生活改善に向けた地域活動を促進			現状値	目標値	
身体活動・運動	地域住民が運動に親しむことのできる機会を増やす	運動習慣者 (20歳以上) の割合		現状値	目標値	
	各市町村が行うウォーキング事業等と連携し、県民の歩く習慣を定着	現状値	目標値	現状値	目標値	
	冬季に実践できる運動・スポーツを推進	女性36.1% (R4)	40% (R14)	男性114.6	女性 71.4 (R2)	減少 (R11)
	歩道や公園の整備等、運動しやすい環境の整備を促進	1日の歩数の平均値 (20～64歳)		虚血性心疾患による年齢調整死亡率 (人口10万対)		
	運動に関心のない者も取り組みやすい環境づくりとして市町村が実施する健康づくりをポイント化する制度の充実やスマートフォンのアプリなどを活用した運動のきっかけづくりを促進	現状値	目標値	現状値	目標値	
女性5,893歩 (H28)	女性8,000歩 (R14)	男性82.8	女性35.4 (R2)	減少 (R11)		
飲酒対策、妊娠中の女性の飲酒・喫煙対策	過度の飲酒が及ぼす健康影響や節度ある飲酒量について普及啓発	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合 (20歳以上)		COPDの死亡率 (人口10万対)		
	妊娠中の女性の飲酒・喫煙が身体に及ぼす影響についての普及啓発	現状値	目標値	現状値	目標値	
	産婦人科・小児科と、禁煙外来・保健所の相談窓口等とが連携した禁煙支援体制を構築	女性10.8% (R4)	6.4% (R14)	18.3 (R3)	13.7 (R14)	
			妊娠中の女性の飲酒割合			
			現状値	目標値		
		0.5% (R3)	0% (R14)			
骨粗鬆症検診の向上	骨粗鬆症予防や骨粗鬆症検診受診の重要性などについて普及啓発	妊娠中の女性の喫煙率				
	骨粗鬆症検診を実施する市町村を早期に全市町村に拡大し、早期発見・早期治療に向けた環境を整備	現状値	目標値			
			0.8% (R3)	0% (R14)		
		骨粗鬆症検診受診率				
		現状値	目標値			
		6.3% (R4)	15% (R14)			

平均寿命の延びを上回る健康寿命の延伸

第3章 健康増進 2 (9) 高齢者の健康



心身機能の維持向上	高齢者の低栄養の予防に向け、高齢期における望ましい食の在り方を普及
	ロコモティブシンドロームの認知度向上のための普及啓発
	介護予防や重症化予防の取り組みの推進による自立した高齢者の割合を増加
	高齢者の体力づくりに効果的な運動の普及推進

BMI 20以下の高齢者(65歳以上)の割合	
現状値	目標値
男性10.9% 女性19.3% (R4)	男女計 13% (R14)
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(65歳以上)	
現状値	目標値
R10 調査予定	50% (R14)
運動習慣者の割合(20歳以上)	
現状値	目標値
男性45.6% 女性36.1% (R4)	男性50% 女性40% (R14)

足腰に痛みのある高齢者の人数(人口千人当たり、65歳以上)	
現状値	目標値
218.2人 (R4)	210人 (R14)

**平均寿命の延びを上回る
健康寿命の延伸**

生きている高齢者の社会参加、 生きがいづくりの推進	高齢者が豊かな知識、経験、技能をいかし、社会参加や社会貢献のできる環境づくり
	「通いの場」や老人クラブ活動等の充実による高齢者の社会参加の場の確保
	高齢者の多様な就労の機会の確保

いずれかの社会活動(就労・就学を含む)を行っている高齢者の割合(65歳以上)	
現状値	目標値
R10 調査予定	R10より 5%増 (R14)

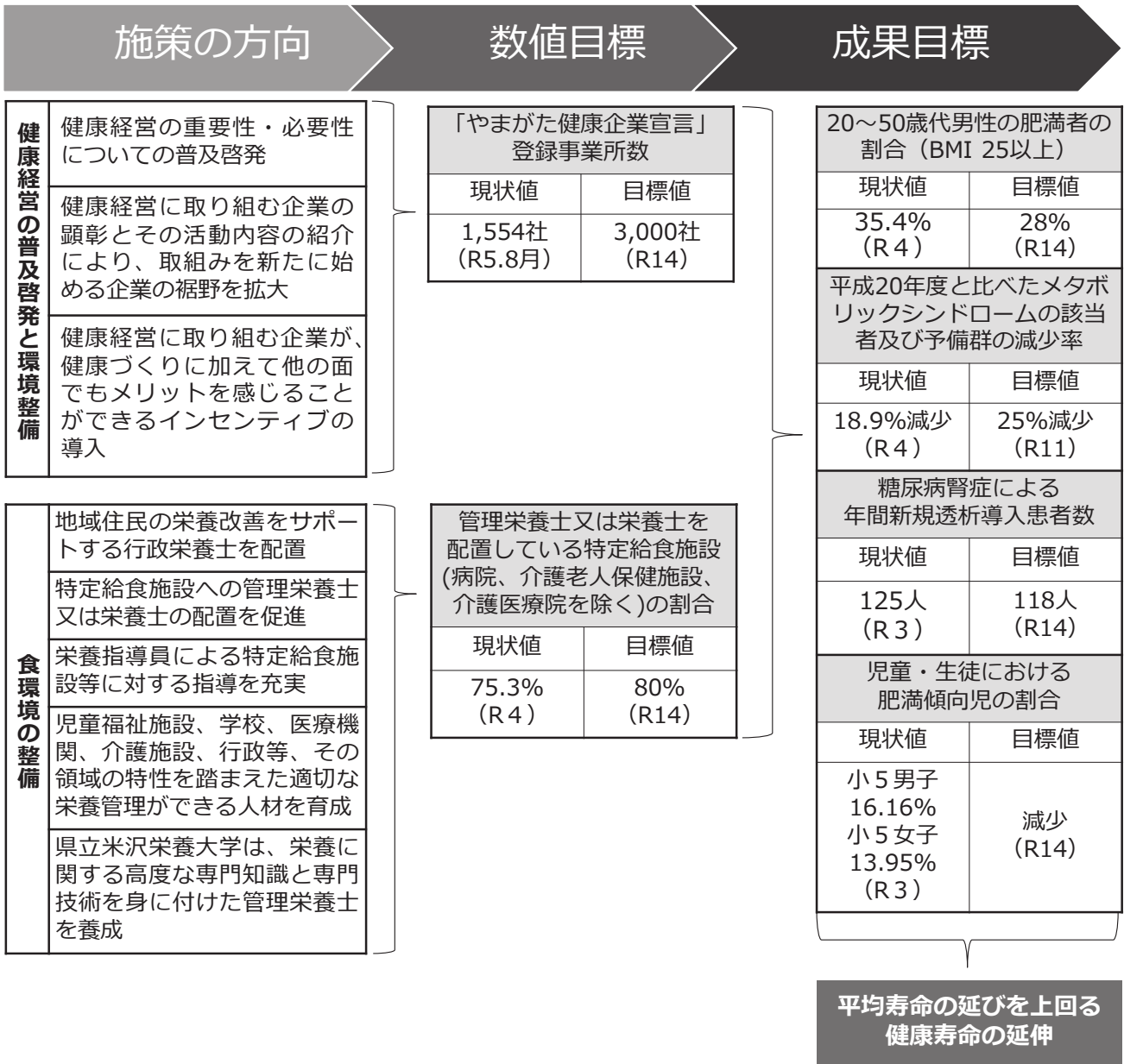
第3章 健康増進 2 (10) 自然に健康になれる環境づくり



受動喫煙の防止	職場における受動喫煙をなくす ・ 県は、関係法令の周知と効果的な取組みを推進 ・ 事業者は、従業員に対し受動喫煙に関する啓発に努め、使用・管理する施設において、受動喫煙防止に必要な環境を整備	受動喫煙の機会を有する者(20歳以上)の割合		COPDの死亡率(人口10万対)	
	家庭における受動喫煙をなくす ・ 行政や医療従事者、NPO等の健康づくり関係者は、受動喫煙が健康に及ぼす影響について、県民の理解を促す	現状値 職場15.4% 家庭13.8% 飲食店11.0%(R4)	目標値 0%(R14)	現状値 18.3(R3)	目標値 13.7(R14)
	飲食店等における受動喫煙をなくす ・ 飲食店等の民間施設や業界団体の効果的な受動喫煙防止の取組みを促進 ・ 県民の利用頻度が高い民間施設に重点を置いた受動喫煙防止対策を推進			がんの年齢調整罹患率(人口10万対)	
				現状値 男女計375.9(R元)	目標値 減少(R11)
				がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)	
				現状値 男女計65.6(R3)	目標値 男女計55(R11)
平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸					

食環境の整備	栄養成分を表示し、健康な食事に資する食品の提供に取り組む食品関連事業者等の増加	「やまがた健康づくり応援企業」登録数		食塩摂取量の平均値(20歳以上)	
	減塩・ベジアップ商品の開発や普及啓発に取り組む食品関連事業者の増加	現状値 17社(R4)	目標値 25社(R14)	現状値 10.5g(R4)	目標値 8g(R10) 7g(R14)
	地域連携・研究推進センター機能を有する県立米沢栄養大学との連携			脳血管疾患による年齢調整死亡率(人口10万対)	
				現状値 男性114.6 女性71.4(R2)	目標値 減少(R11)
				糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	
				現状値 125人(R3)	目標値 118人(R14)

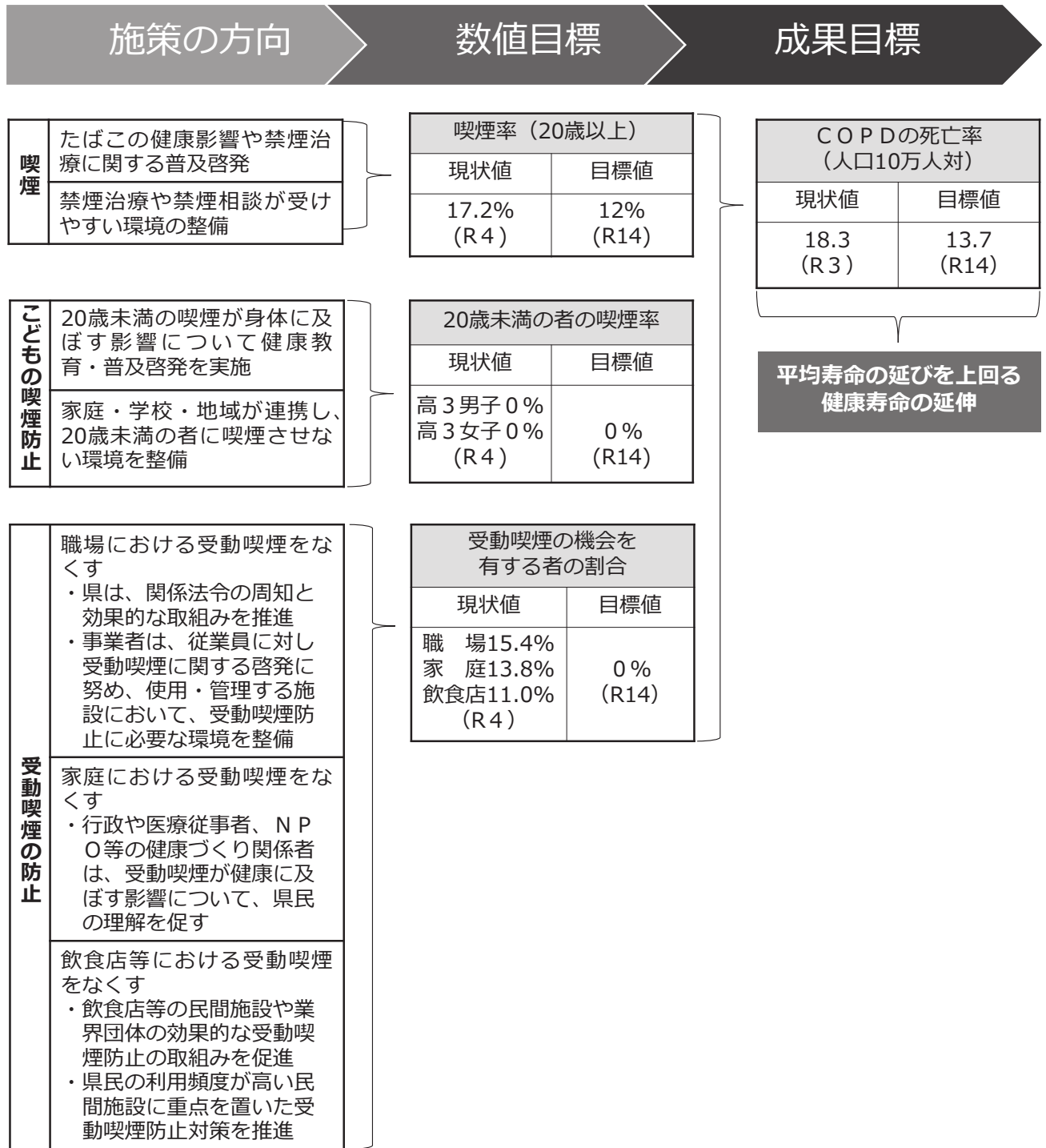
第3章 健康増進 2 (11) 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備



第3章 健康増進 3 (3) 糖尿病

施策の方向		数値目標		成果目標	
食生活・運動・飲酒等の生活習慣の改善	主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食生活の定着	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合(20歳以上)		20～50歳代男性の肥満者の割合 (BMI 25以上)	
	十分な量の野菜や果物を毎日摂る食事を推奨	現状値	目標値	現状値	目標値
	素材の味をいかした減塩の推進	R10 調査予定	50% (R14)	35.4% (R 4)	28% (R14)
	朝・昼・夕3食を食べる健康的な食習慣の定着	食塩摂取量の平均値(20歳以上)		平成20年度と比べたメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	
	各市町村が行うウォーキング事業等と連携し、県民の歩く習慣を定着	現状値	目標値	現状値	目標値
	冬季に実践できる運動・スポーツを推進	10.5g (R 4)	8g(R10) 7g(R14)	18.9%減少 (R 4)	25%減少 (R11)
	運動を指導する人材の育成を推進	運動習慣者の割合(20歳以上)		糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	
	市町村が実施する健康づくりをポイント化する制度の充実やスマートフォンのアプリなどを活用した運動のきっかけづくりを促進	現状値	目標値	現状値	目標値
	たばこの健康影響や禁煙治療に関する普及啓発	男性45.6% 女性36.1% (R 4)	男性50% 女性40% (R14)	125人 (R 3)	118人 (R14)
	過度の飲酒が及ぼす健康影響や節度ある飲酒量について普及啓発	1日の歩数の平均値 (20～64歳)			
糖尿病の予防・重症化予防	特定健診の受診勧奨による受診率向上とハイリスク者の発見	現状値	目標値	平均寿命の延びを上回る健康寿命の延伸	
	ハイリスク者等に対する保健指導の実施	男性7,098歩 女性5,893歩 (H28)	8,000歩 (R14)		
	健診結果(要治療、要精密検査)に従った適切な受診の勧奨	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合 (20歳以上)			
	特定健診従事者及び特定保健指導従事者を育成	現状値	目標値		
	適切な血糖の管理、正しい生活習慣に関する指導	男性17.7% 女性10.8% (R 4)	男性13.0% 女性 6.4% (R14)		
	糖尿病治療の重要性を普及啓発	喫煙率 (20歳以上)			
	糖尿病患者に対する適切な口腔管理や歯周病治療の必要性を啓発	現状値	目標値		
	「山形県糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防プログラム」に基づき、医療機関未受診者や治療中断者への受診勧奨、重症化リスクが高い糖尿病及び慢性腎臓病患者への保健指導などを強化	17.2% (R 4)	12% (R14)		
		特定健診の受診率			
		現状値	目標値		
	66.3% (R 3)	70% (R11)			
	特定保健指導の実施率				
	現状値	目標値			
	29.8% (R 3)	45% (R11)			
	「山形県糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防プログラム」に基づき医療機関から保健指導の依頼を受けた市町村数 (令和3年度以降の累計)				
	現状値	目標値			
	20市町村 (R 4)	35市町村 (R14)			

第3章 健康増進 3 (4) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)



第4章 がん対策 4分野別施策（1）がん予防



生活習慣の改善、禁煙・受動喫煙対策、感染症対策

生活習慣の改善（「第3章2(1)栄養・食生活、(2)身体活動・運動、(4)飲酒」参照）
たばこの健康影響や禁煙治療に関する普及啓発
禁煙治療や禁煙相談が受けやすい環境の整備
職場における受動喫煙をなくす
家庭における受動喫煙をなくす
飲食店等における受動喫煙をなくす
肝炎ウイルス検査の実施による肝炎患者・感染者の早期発見、早期治療を促進

生活習慣の改善

現状値	目標値
生活習慣の改善（「第3章2(1)栄養・食生活、(2)身体活動・運動、(4)飲酒」参照）	
喫煙率（20歳以上）	
現状値	目標値
17.2% (R4)	12% (R14)
受動喫煙の機会を有する者の割合	
現状値	目標値
職 場15.4% 家 庭13.8% 飲食店11.0% (R4)	0% (R14)
肝炎治療費助成受給者数（累計）	
現状値	目標値
4,061人 (R4)	4,900人 (R11)

がんの年齢調整罹患率（人口10万対）

現状値	目標値
男女計 375.9 (R元)	減少 (R11)
がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）	
現状値	目標値
男女計 65.6 (R3)	男女計 55 (R11)

平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸

がん検診の受診率向上対策・精度管理

「みんなで取り組む『がん対策県民運動』」を展開
がん検診制度やその重要性、受診状況等について、県民へ情報提供や啓発を実施
ピンクリボン運動等のがん検診の受診向上につながる取組みを支援
効果的な受診勧奨と、休日検診や各種健診との合同実施など受診の利便性を向上
受診対象者を正確に把握し、未受診者に対する受診勧奨を強化
がん検診の精密検査の受診状況を正確に把握し、受診勧奨を徹底
がん検診の事業評価の実施及び検診精度の維持・向上に関する検討を実施し、市町村に情報提供
従業員の健康の保持・増進のため、がん検診の受診向上を図るとともに、受診しやすい職場環境を整備

がん検診の受診率

現状値	目標値
胃 63.5% 大腸64.7% 肺 69.0% 乳 61.7% 子宮57.5% (R4)	70% (R11)
がん検診の精密検査受診率	
現状値	目標値
77.6%~ 98.7% (R元)	95% (R11)

第4章 がん対策4分野別施策（2）がん医療



がん医療提供体制等	がん診療連携拠点・指定病院は、患者本位で持続可能な医療の提供を推進するため、多職種による定期的なカンファレンスを実施
	山形県がん診療連携協議会の設置・運営
	重粒子線がん治療等高度な放射線医療の提供と治療助成の継続
	感染症発生・まん延時や災害時においても必要ながん医療を提供する体制を確保するため、BCPを策定し、地域の実情に応じた連携体制を整備
	がんゲノム医療中核拠点病院を中心とした医療体制の整備を、引き続き推進
	手術療法、放射線療法、薬物療法等を効果的に組み合わせた集学的治療及び標準的治療等の推進
	がん診療連携拠点病院を定期的 に開催する等、がん医療の 評価を行う体制を充実
	各職種の専門性を活かし、 医療従事者間の連携と補完 を重視した多職種でのチ ーム医療・職種間連携を推進
	適切ながんのリハビリテー ション提供体制の整備
	がんと診断された時から、 切れ目ない緩和ケアを提供 できる体制を充実

がん診療連携拠点・指定病院	
がん診療連携拠点・指定病院	がん診療連携拠点・指定病院
現状値	目標値
1,585件 (R4)	2,000件 (R11)
緩和ケア研修修了 医師数の累計	
現状値	目標値
1,749名 (R4)	2,000名 (R11)
緩和薬物療法認定薬剤師の 配置割合(拠点・指定病院)	
現状値	目標値
5/7病院 (R4)	7/7病院 (R11)

がんの75歳未満年齢調整 死亡率(人口10万対)	
現状値	目標値
男女計 65.6 (R3)	男女計 55 (R11)
がんの5年生存率	
現状値	目標値
64.7% (H26-27)	70% (R11)
現在自分らしい日常を 送れていると感じる がん患者の割合	
現状値	目標値
70.3% (H30)	80% (R11)

平均寿命の延びを上回る
健康寿命の延伸

小児・AYA世代・ 高齢者のがん対策	妊よう性温存療法について、 将来子どもを持つことを希 望する小児・AYA世代の がん患者や、がん治療に携 わる医療従事者に普及啓発
	QOLの観点から高齢のがん 患者に適した医療を提供 認知症のがん患者とその家 族の意思決定支援体制の継 続

がん・生殖医療の意思 決定支援に関する人材 育成を実施している 拠点・指定病院の割合	
現状値	目標値
4/7病院 (R4)	7/7病院 (R11)

第4章 がん対策 4分野別施策（3）がんと共生

個別施策

数値目標

成果目標

相談支援と情報提供	がんに関する情報提供の充実と相談支援連携体制の整備
	がん診療連携拠点・指定病院の相談支援センターや県がん総合相談支援センター及びその機能について、県民に広く周知
	がん患者やその家族等の交流の場を確保し、自主的に情報提供している患者団体等の活動を支援

がん相談窓口における相談受件数	
現状値	目標値
6,831件 (R4)	7,400件 (R11)
がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	
現状値	目標値
61.4% (H30)	65% (R11)

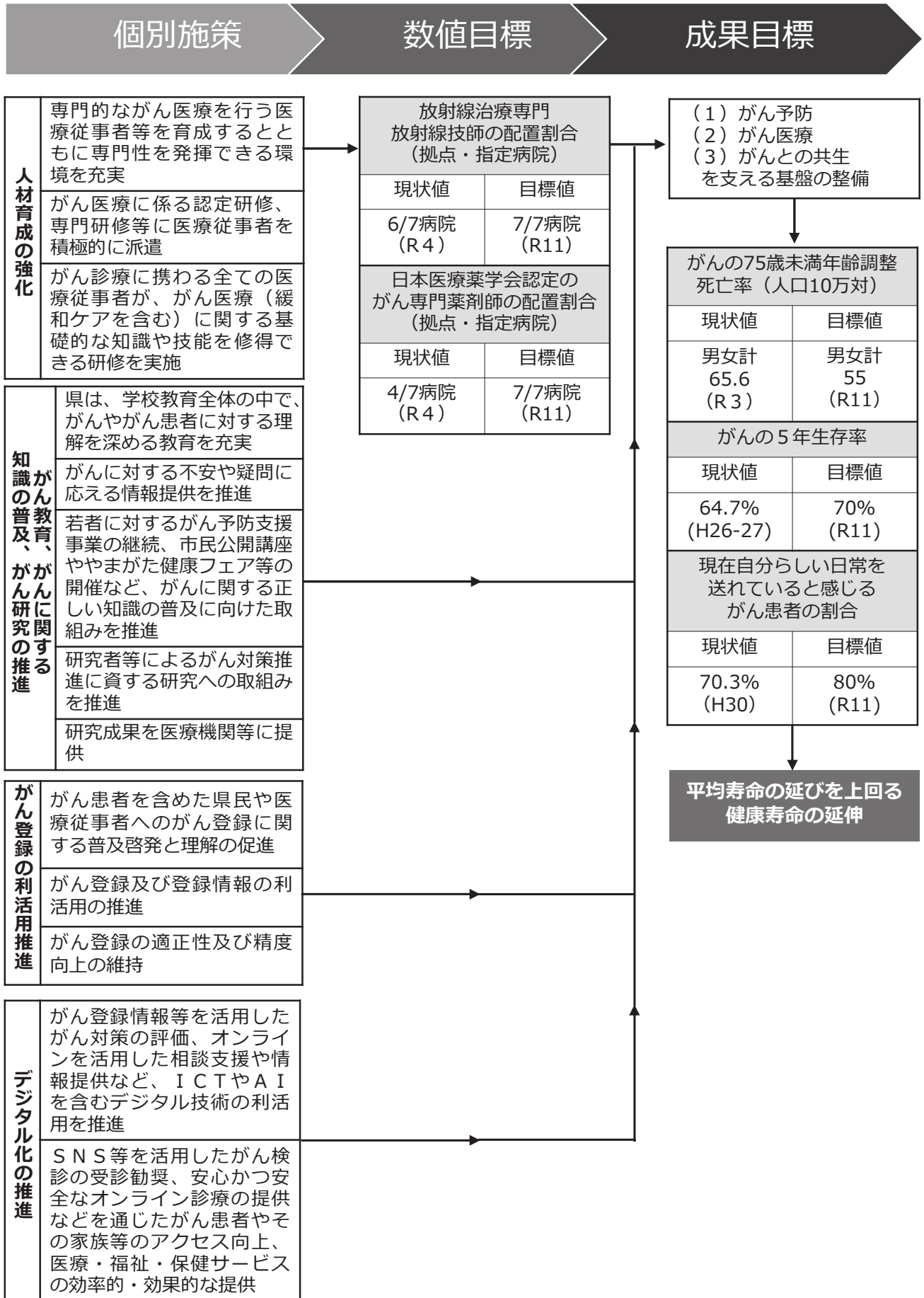
現在自分らしい日常を送れていると感じるがん患者の割合	
現状値	目標値
70.3% (H30)	80% (R11)

平均寿命の延びを上回る
健康寿命の延伸

がん対策・患者支援 社会連携に基づく	がん地域連携バスの運用支援と運用見直しによる更なる連携の強化
	医療・介護・福祉関係機関等が連携した在宅医療の推進
	セカンドオピニオンを受けられる体制の充実と、患者やその家族への普及啓発

がん患者等の社会的問題への対策 (サハイパーシップ対策)	がん患者の就労実態の把握と対策の推進
	がん治療と仕事や教育の両立にむけた情報提供、支援、体制整備
	アピアランスケアに係る支援事業の継続
	アピアランスケアの周知啓発
	がん診断後の自殺対策とがんに関する差別解消
	小児・AYA世代のがん患者に対する成人診療科と連携した切れ目ない相談支援体制の構築
	小児・AYA世代のがん患者及びその家族の在宅療養に係る課題整理と負担軽減に向けた支援体制の構築
	高齢のがん患者及びその家族に対する支援体制の充実

第4章 がん対策 4分野別施策（4） これらを支える基盤



第5章 循環器病対策 4 (1) 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

個別施策

数値目標

成果目標

生活習慣等の改善による生活習慣病の予防

主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスの良い食生活の定着
十分な量の野菜や果物を毎日とる食事を推奨
素材の味をいかした減塩の推進
朝・昼・夕3食を食べる健康的な食習慣の定着
各市町村が行うウォーキング事業等と連携し、県民の歩く習慣を定着
冬季に実践できる運動・スポーツを推進
運動を指導する人材の育成を推進
市町村が実施する健康づくりをポイント化する制度の充実やスマートフォンのアプリなどを活用した運動のきっかけづくりを促進
休養や睡眠、こころの健康に関する正しい知識の普及
十分な睡眠時間とリフレッシュの確保
たばこの健康影響や禁煙治療に関する普及啓発
禁煙治療や禁煙相談が受けやすい環境の整備

20~50歳代男性の肥満者の割合 (BMI 25以上)	
現状値	目標値
35.4% (R4)	28% (R14)
食塩摂取量の平均値(20歳以上)	
現状値	目標値
10.5g (R4)	8g(R10) 7g(R14)
運動習慣者の割合(20歳以上)	
現状値	目標値
男性45.6% 女性36.1% (R4)	男性50% 女性40% (R14)
睡眠による休養を十分とれている者の割合 (20歳以上)	
現状値	目標値
78.2% (R4)	80% (R14)
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合 (20歳以上)	
現状値	目標値
男性17.7% 女性10.8% (R4)	男性13.0% 女性 6.4% (R14)
喫煙率 (20歳以上)	
現状値	目標値
17.2% (R4)	12% (R14)

特定健診における 血圧有所見率 (収縮期血圧130mmHg以上)	
現状値	目標値
男性47.3% 女性38.2% (R2)	減少 (R11)
特定健診における 血糖値有所見率 (HbA1c5.6%以上)	
現状値	目標値
男性53.8% 女性53.5% (R2)	減少 (R11)
特定健診における コレステロール有所見率 (LDL 120mg/dl以上)	
現状値	目標値
男性53.8% 女性53.7% (R2)	減少 (R11)

平均寿命の延びを上回る
健康寿命の延伸

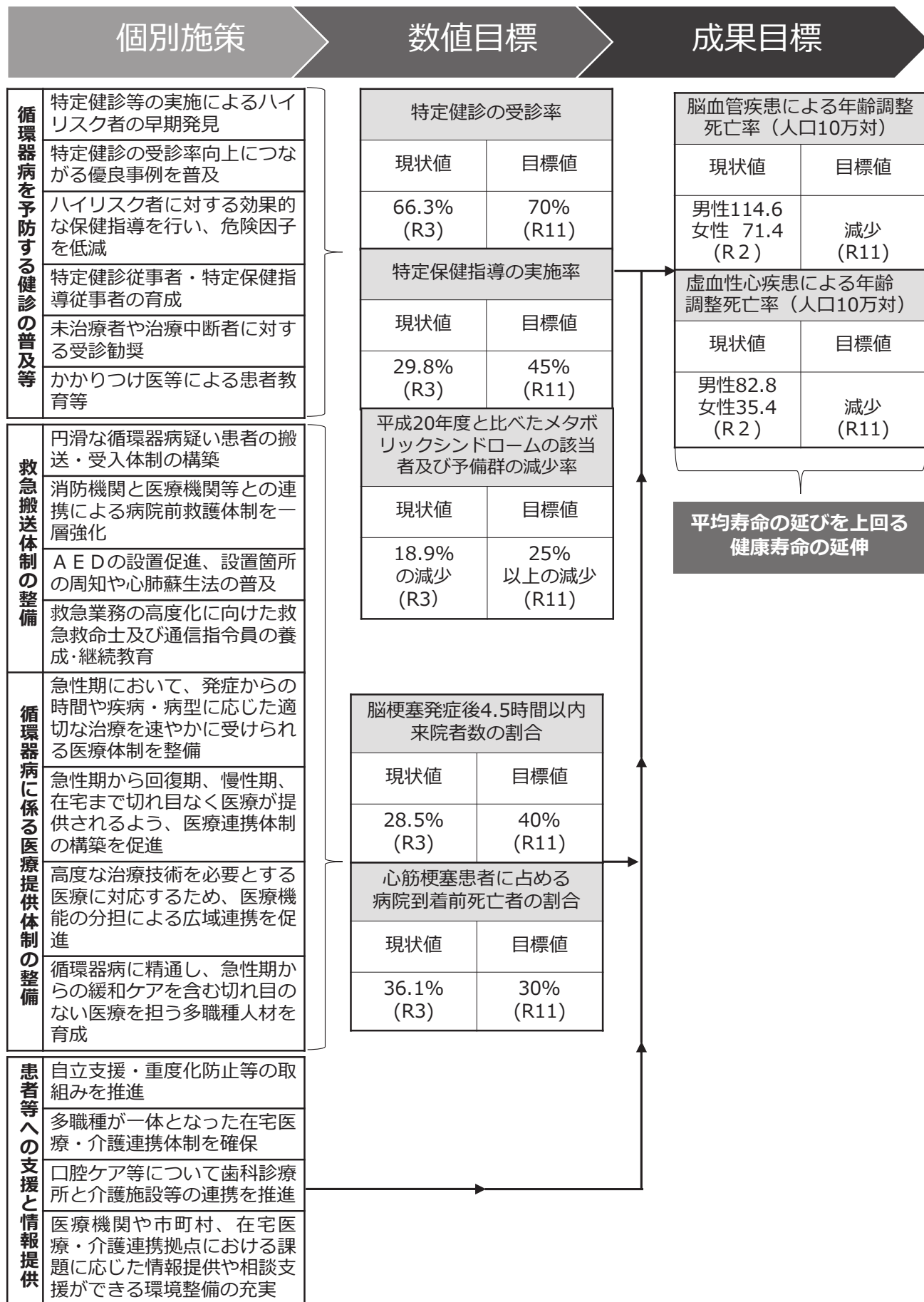
循環器病に関する正しい知識の普及啓発

望ましい生活習慣の確立、基礎疾患の管理の重要性等について啓発
循環器病の予防や発症時の症状と適切な対応について啓発
脳卒中について、前兆や初期症状の早期発見、医療機関の早期受診の重要性を啓発
心血管疾患について、発症後速やかな救急要請や周囲の者によるAEDの使用を含めた心肺蘇生等適切な処置の重要性を啓発

脳梗塞発症後4.5時間以内 来院者数の割合	
現状値	目標値
28.5% (R3)	40% (R11)
心筋梗塞患者に占める 病院到着前死亡者の割合	
現状値	目標値
36.1% (R3)	30% (R11)

脳血管疾患による年齢調整 死亡率 (人口10万対)	
現状値	目標値
男性114.6 女性 71.4 (R2)	減少 (R11)
虚血性心疾患による年齢 調整死亡率 (人口10万対)	
現状値	目標値
男性82.8 女性35.4 (R2)	減少 (R11)

第5章 循環器病対策 4 (2) 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実



第5章 循環器病対策 4 (3) 循環器病の研究推進



循環器病の研究推進	「山形県脳卒中・心筋梗塞発症登録評価研究事業」を継続実施
-----------	------------------------------

脳梗塞発症後4.5時間以内来院者数の割合	
現状値	目標値
28.5% (R3)	40% (R11)
心筋梗塞患者に占める病院到着前死亡者の割合	
現状値	目標値
36.1% (R3)	30% (R11)

脳血管疾患による年齢調整死亡率（人口10万対）	
現状値	目標値
男性114.6 女性 71.4 (R2)	減少 (R11)
虚血性心疾患による年齢調整死亡率（人口10万対）	
現状値	目標値
男性82.8 女性35.4 (R2)	減少 (R11)

平均寿命の延びを上回る
健康寿命の延伸

第6章 歯科口腔保健対策 4 (1) ライフステージに応じた施策



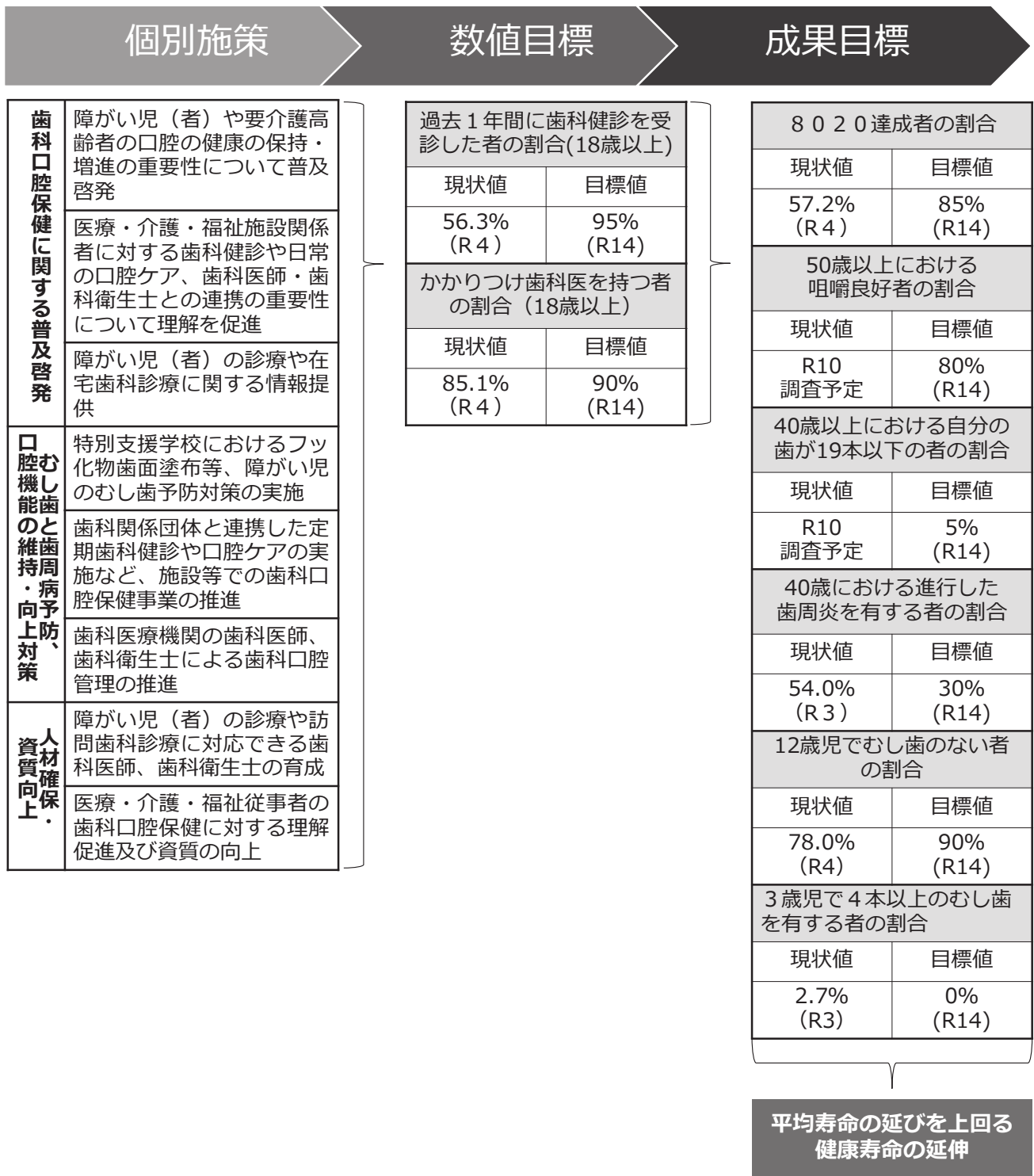
妊娠・乳幼児期	望ましい食生活や歯磨きなどの習慣づけの定着、保護者による仕上げ磨きを推奨
	定期的な歯科健診及びフッ化物利用等の効果が明らかなくむし歯予防処置の啓発
	乳幼児の歯・口腔に関する市町村間の健康格差の縮小
	母子に対する歯科保健事業の充実
学齢期	保育関係者、歯科医療機関及び県・市町村など関係機関が連携した歯科口腔保健の取組みの支援
	望ましい食生活や歯間部清掃用具の活用も含めた歯磨きなどの習慣づけを推進
	小学校、中学校でのフッ化物利用を含めた歯科口腔保健の取組みを支援
青年期・壮年期	学校歯科医等の歯科専門職、学校及び県・市町村の関係機関が連携した歯科口腔保健の取組みを支援
	歯間部清掃用具の活用も含めた口腔清掃法の普及
	定期的な歯科健診、歯石除去等の処置やかかりつけ歯科医の必要性を啓発
	生活習慣病と歯科口腔保健との関連性や歯周病治療の必要性について普及啓発
	職域での歯科口腔保健に関する理解促進と事業所等での歯科健診等の積極的実施
	歯と口腔の健康づくりの観点から喫煙対策を推進
高齢期	壮年期は、上記に加え歯周疾患検診の受診率向上に向けた啓発
	歯間部清掃用具の活用や義歯の衛生管理等の口腔清掃方法の啓発
	健口体操等、口腔機能の向上を図るための啓発
	8020運動の啓発
	生活習慣病と歯科口腔保健との関連性や歯周病治療の必要性について普及啓発
	歯周疾患検診の受診率向上に向けた啓発

歯間部清掃用具を使用している人の割合 (18歳以上)	
現状値	目標値
62.0% (R4)	75% (R14)
喫煙率 (20歳以上)	
現状値	目標値
17.2% (R4)	12% (R14)
過去1年間に歯科健診を受診した者の割合 (18歳以上)	
現状値	目標値
56.3% (R4)	95% (R14)
かかりつけ歯科医を持つ者の割合 (18歳以上)	
現状値	目標値
85.1% (R4)	90% (R14)

8020達成者の割合	
現状値	目標値
57.2% (R4)	85% (R14)
50歳以上における咀嚼良好者の割合	
現状値	目標値
R10 調査予定	80% (R14)
40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合	
現状値	目標値
R10 調査予定	5% (R14)
40歳における進行した歯周炎を有する者の割合	
現状値	目標値
54.0% (R3)	30% (R14)
12歳児でむし歯のない者の割合	
現状値	目標値
78.0% (R4)	90% (R14)
3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合	
現状値	目標値
2.7% (R3)	0% (R14)

平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸

第6章 歯科口腔保健対策 4 (2) サポートを必要とする人への施策



第6章 歯科口腔保健対策 4 (3) 社会環境の整備に向けた施策



個別施策		数値目標		成果目標	
定期歯科健診 受診の促進	かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健診を受診することの重要性を普及啓発	過去1年間に歯科健診を受診した者の割合(18歳以上)		8020達成者の割合	
		現状値 56.3% (R4)	目標値 95% (R14)	現状値 57.2% (R4)	目標値 85% (R14)
歯科口腔保健を担う人材の育成	行政への歯科医師・歯科衛生士の配置も含め、歯科口腔保健対策を総合的に推進していく人材の確保と資質の向上	かかりつけ歯科医を持つ者の割合(18歳以上)		50歳以上における咀嚼良好者の割合	
	歯科衛生士の離職防止・復職支援の取組みを推進	現状値 85.1% (R4)	目標値 90% (R14)	現状値	目標値
	地方公共団体においてPDCAサイクルに沿って効果的・効率的に歯科口腔保健対策を実施可能な体制等の整備			R10 調査予定	80% (R14)
	母子歯科保健、学校歯科保健等の歯科保健需要に対応するため歯科医師・歯科衛生士の積極的活用			40歳以上における自分の歯が19本以下の者の割合	
	医療・保健・介護・福祉関係者の歯科口腔保健に関する理解と協働の促進			現状値	目標値
多職種が連携した チーム医療の推進	がん治療に伴う副作用・合併症の予防・軽減など、歯科・医科連携による口腔管理の充実			R10 調査予定	5% (R14)
	がん等に係る手術を実施する患者の周術期における口腔機能の管理を充実			40歳における進行した歯周炎を有する者の割合	
	循環器病、糖尿病の重症化予防のための歯科・医科連携による適切な口腔管理、定期歯科健診及び歯周病治療の充実			現状値	目標値
	脳卒中等の神経疾患発症後における摂食嚥下機能の維持・向上のため多職種と連携した摂食嚥下リハビリテーションの実施			54.0% (R3)	30% (R14)
	医療・介護・福祉施設関係者に対する歯科健診や日常の口腔ケア、歯科医師・歯科衛生士との連携の重要性について理解促進(再掲)			12歳児でむし歯のない者の割合	
	在宅や入所施設の医療的ケア児(者)・要介護高齢者に対する、医療・福祉・介護が連携した口腔ケア、リハビリテーション、栄養ケアの推進			現状値	目標値
				78.0% (R4)	90% (R14)
			3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合		
			現状値	目標値	
			2.7% (R3)	0% (R14)	

平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸